

1 市町名 横瀬町

2 課題をもとにした仮説

- ・主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善を図れば、児童生徒の学力向上につながるだろう。
- ・学校及び各家庭のICT環境等を整備し、積極的な活用を行えば、主体的・対話的で深い学びにつながるだろう。

3 効果的な取組の例

(1) 市町教育委員会における主な取組例

①具体的な取組例

- 「わかる・できる授業」のスタンダードや「ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりのポイント」による一人一人の学びの保障
 - ・教育委員会作成の授業スタンダードやポイントを共有・実践することで、学校全体の授業改善、学力向上を図った。
 - ・授業における振り返りを明確に位置付け、意識的に実践を重ねた。

○学校のICT化に係る授業支援

- ・学校のICT環境を整備し、一人一台端末の活用に係る教職員研修を実施した。
- ・小学校低学年児童がICTを活用するための基本的操作について、教育委員会指導主事による授業を実践した。
- ・学校教育におけるICTの活用が推進され、子供たちが主体的に学ぶ姿も多く見られた。



【低学年児童対象授業】

○コバトンのびのびシートの活用

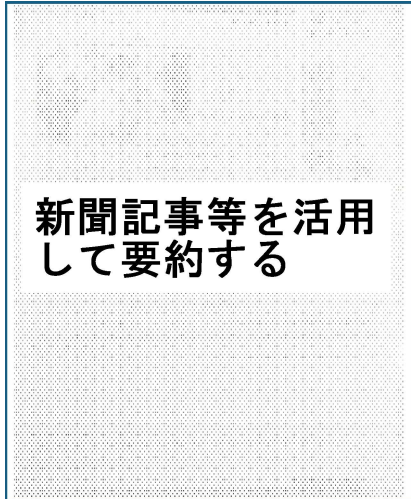
- ・年度末に指導が必要となる児童生徒についてのシートを作成し、次年度に引き継がれるよう工夫し、効果的な指導や支援について記載し、学校全体で共有できるように指導した。

②取組の成果と課題

- ・教育委員会作成の授業スタンダードやポイントを共有・実践することで特に若手の教員にとっては質の高い授業改善につながった。
- ・授業における振り返りを継続的に実践することで、子供たちの表現力も向上している。振り返りを苦手とする子供への支援が今後必要である。
- ・学校のICT化が推進され授業が効率化されることにより、子供たちがより深く学ぶ時間が確保できるようになった。

(2) 重点校における主な取組例

- ① 具体的な取組例
- 課題改善に向けた指導の充実



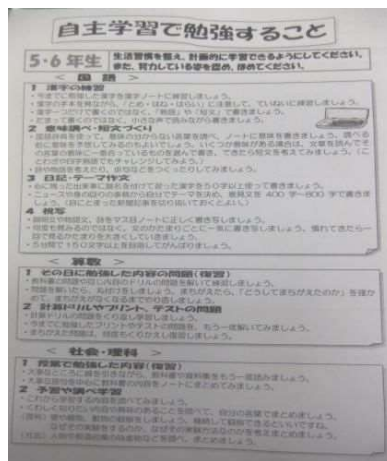
【読解力向上に向けたプリント等への取組】



【「自学のすすめ」の配布】



【家庭学習の時間の確保 (家庭学習集中期間の設定)】



- ・ 言語活動の充実 (詩の暗唱への取組)

○ 教職員の資質向上

- ・ プロジェクト加配教員による指導
- ・ 「良い授業を見つけ！広めて！学力UP事業」の映像資料を活用した校内研修

② 取組の成果と課題

- ・ 県学調において、「学力の伸びの状況」を見ると、国語科がよく伸びている。
- ・ 更なる学力向上を目指し、個に応じた指導を充実するため、授業における板書や提示資料の工夫、T・Tや少人数指導による個に応じた指導の工夫が必要である。

自主学習のすすめ

～**㊀**いい環境 **㊁**えかけ目をかけ手をかけて

㊂たいやるその強い意志～

横瀬町 家庭学習の心得 3か条

家庭学習とは、

宿題 (音読練習含む) + **自主学習** = **家庭学習**

自主学習は、宿題(音読練習含む)を除いた学習です。このてびきを参考に
にして取り組んでみてください。

家庭学習のやくそく

- 1 毎日自分が決めた時刻に学習を始める。
- 2 めやすをもとに1日の学習時間を決める。
- 3 机の上には学習用具だけをのせる。
- 4 ものを食べながら勉強しない。
- 5 テレビや音楽を消して勉強する。
- 6 宿題を始めに、次に自主学習にも取り組む。
- 7 次の日の学習の準備をする。



【ご家庭の方へのお願い】

- ・この「自主学習のすすめ」は、お子さんといっしょによく読んで確認し、お子さんが自分で学習を選べるよう、支えていってください。
- ・特に低学年のお子さんは、そばでの見守りか見届けを必ずお願いします。
- ・約束を守ってやり終えたら「がんばったね。」などとほめてください。

【家庭学習のめやす】

※家庭学習集中期間中は読書の時間を入れてもよい。

学年	通常	家庭学習集中期間	家庭学習集中期間 (小中連携・中学校でのテスト期間)
1年	20分～	30分～	
2年	25分～	40分	② 6/29(月)～7/ 5(日)
3年	30分～	45分	③ 10/9(金)～10/15(木)
4年	40分～	60分	④ 11/17(火)～11/23(月)
5年	50分～	75分	⑤ 2/19(金)～ 2/25(木)
6年	60分～	90分	

横瀬町立横瀬小学校

自主学習で勉強すること

1・2年生

粘り強く働きかけ、習慣にさせてください。また、最後までやり終えたか保護者がそばで見守り、確かめ(丸つけ)をお願いします。まちがいはその場で直すことにより、力がつきます。

1年生

1 日記・作文

- ・読んだことや楽しかったことを絵日記に書きましょう。
- ・おうちの人や先生に教えたいことを文に書きましょう。

2 文字の練習(フリントや漢字ドリルの活用)

- ・習ったひらがな、カタカナ、漢字を書き順に気を付けてノートに練習
- ・「とめ・はね・はらい」や、4つの部屋を意識して練習しましょう。
- ・ひらがなでしりとりをしながら書いてみましょう。



3 短い文を作る練習

- ・くっつきの「は」「へ」「を」を使って文を作りましょう。

例：「わたしは、うたをうたいました。」

4 読書

- ・絵本を読みましょう。また、読み終わったら、おもしろかったことをノートに書いてみましょう。

5 計算練習(フリントや計算ドリルの活用)

- ・10までの数を書く練習をしましょう。
- ・合わせて10になる数を書きましょう。例：2と8、6と4 など
- ・20より大きい数を10がいくつと1がいくつに分けましょう。
- ・たし算とひき算の練習をしましょう。

- ・家にある問題集にチャレンジするのもいいですね。
- ・上に書かれていない学習を自分で考えてするのもよいことです。



じしゅがくしゅう べんきょう 自主学習で勉強すること

1・2年生

粘り強く働きかけ、習慣にさせてください。また、最後までやり終えたか保護者がそばで見守り、確かめ(丸つけ)をお願いします。まちがいはその場で直すことにより、力がつきます。

2年生

1 日記・作文

- 思ったことや気付いたことを入れて遊んだことや楽しかったことを書きましよう。(150字程度)
- 「」を正しく使って会話文を入れた文を書きましよう。
- 習った漢字を使って書きましよう。

2 漢字の練習(フリントや漢字ドリルの活用)

- 習った漢字を書き順に気を付けてノートに練習しましよう。
- 「とめ・はね・はらい」や、4つの部屋を意識して練習しましよう。

3 短い文を作る練習

- 習った漢字やひらがなを使って短い文を作りましよう。



4 読書

- 物語の本を読みましよう。また、読み終わったら、おもしろかったことをノートに書いてみましよう。

5 計算練習(フリントや計算ドリルの活用)

- たし算やひき算の筆算の練習をしましよう。
- 九九の暗算ができるように練習しましよう。
- 算数の問題を作ってみましよう。
- 百ます計算練習をしましよう。



- 家にある問題集にチャレンジするのもいいですね。
- 上に書かれていない学習を自分で考えてするのもよいことです。



自主学習で勉強すること

3・4年生

自立心が芽生えてきますが、保護者のはたらきかけや確認が必要な時期です。

< 国語 >

1 漢字の練習

- ・今までに勉強した漢字や漢字ドリルの漢字をくり返し漢字ノートに練習しましょう。
- ・漢字の手本を見ながら、「とめ・はね・はらい」に注意して、ていねいに練習しましょう。
- ・漢字一つだけで書くのではなく、「じゅく語」や「短文」で書きましょう。
例：「伝」という字なら「伝言」「伝記」のようにじゅく語で書いたり、「伝記を読む。」のように短文で書いたりしましょう。
- ・だまって書くのではなく、小さな声や頭の中で読みながら書きましょう。

2 意味調べ

- ・国語辞典を使って、意味の分からない言葉を調べ、ノートに意味を書きましょう。いくつか意味がある場合は、文章を読んでその言葉の意味に一番合っているものを選んで書くようにしましょう。

3 日記

- ・できごとや体験したことについて題名をつけ、300字くらいで書きましょう。習った漢字を使い、様子や気持ちがわかるように書きましょう。



4 視写

- ・説明文や物語文、詩をマス目ノートに正しく書き写しましょう。
- ・何度も見みるのではなく、文のかたまりごとに一気に書き写しましょう。慣れてきたら一回で見るかたまりを大きくしていきましょう。
- ・句読点や行がえに気をつけ、5分間で125文字以上を目指してがんばりましょう。

5 ローマ字

- ・ローマ字をノートにくり返し書きましょう。

< 算数 >

1 その日に勉強した内容の問題(復習)

- ・教科書の問題や同じ内容のドリルの問題を解いて練習しましょう。
- ・問題を解いたら、丸付けをしましょう。まちがえたら、「どうしてまちがえたのか」を確かめて、まちがえがなくなるまでやり直しましょう。

2 計算ドリルやプリント、テストの問題

- ・計算ドリルの問題をくり返し学習しましょう。
- ・今までに勉強したプリントやテストの問題を、もう一度解いてみましょう。
- ・まちがえた問題は、何度もくりかえし復習しましょう。



< 社会・理科 >

1 授業で勉強した内容(復習)

- ・大事なところに線を引きながら、教科書や資料集をもう一度読みましょう。
- ・大事な語句を中心に教科書の内容をノートにまとめてみましょう。

2 予習や調べ学習

- ・これから学習する内容を調べてみましょう。
- ・くわしく知りたい内容や興味のあることを調べて、自分の言葉でまとめましょう。
(理科) 植物、動物の観察をしましょう。継続して観察できるといいですね。
(社会) 地域の特産物や歴史などを調べ、まとめましょう。

自主学習で勉強すること

5・6年生

生活習慣を整え、計画的に学習できるようにしてください。
また、努力している姿を認め、ほめてください。

< 国語 >

1 漢字の練習

- ・今までに勉強した漢字を漢字ノートに練習しましょう。
- ・漢字の手本を見ながら、「とめ・はね・はらい」に注意して、ていねいに練習しましょう。
- ・漢字一つだけで書くのではなく、「熟語」や「短文」で書きましょう。
- ・だまって書くのではなく、小さな声で読みながら書きましょう。



2 意味調べ・短文づくり

- ・国語辞典を使って、意味の分からない言葉を調べ、ノートに意味を書きましょう。調べる前に意味を予想してみるのもよいでしょう。いくつか意味がある場合は、文章を読んでその言葉の意味に一番合っているものを選んで書き、できたら短文を考えてみましょう。(ことわざや四字熟語でもチャレンジしてみよう。)
- ・詩や物語を考えたり、俳句などをつくったりしてみましょう。

3 日記・テーマ作文

- ・心に残った出来事に題名を付けて習った漢字を50字以上使って書きましょう。
- ・ニュースや身の回りの事柄から自分でテーマを決め、意見文を400字~800字で書きましょう。(目にとまった新聞記事を切り抜いておくとよい。)

4 視写

- ・説明文や物語文、詩をマス目ノートに正しく書き写しましょう。
- ・何度も見みるのではなく、文のかたまりごとに一気に書き写しましょう。慣れてきたら一回で見るかたまりを大きくしていきましょう。
- ・5分間で150文字以上を目指してがんばりましょう。

< 算数 >

1 その日に勉強した内容の問題(復習)

- ・教科書の問題や同じ内容のドリルの問題を解いて練習しましょう。
- ・問題を解いたら、丸付けをしましょう。まちがえたら、「どうしてまちがえたのか」を確かめて、まちがえがなくなるまでやり直しましょう。

2 計算ドリルやプリント、テストの問題

- ・計算ドリルの問題をくり返し学習しましょう。
- ・今までに勉強したプリントやテストの問題を、もう一度解いてみましょう。
- ・まちがえた問題は、何度もくりかえし復習しましょう。

< 社会・理科 >

1 授業で勉強した内容(復習)

- ・大事なところに線を引きながら、教科書や資料集をもう一度読みましょう。
- ・大事な語句を中心に教科書の内容をノートにまとめてみましょう。

2 予習や調べ学習

- ・これから学習する内容を調べてみましょう。
- ・くわしく知りたい内容や興味のあることを調べて、自分の言葉でまとめましょう。(理科) 星や植物、動物の観察をしましょう。継続して観察できるといいですね。なぜその実験をするのか、なぜその実験方法なのかを考えまとめましょう。(社会) 人物や都道府県の特産物などを調べ、まとめましょう。